

# 自治協ニュース

第0404号  
発行者  
八本松住民  
自治協議会  
R04.08.20

## ベスト贈呈で地域貢献 安芸バイパス工事4事業者



贈呈されたポケット付きベスト

7月27日 八本松住民自治協議会(会長 土久岡 章治、以下 自治協)は国道2号線バイパス八本松IC工事4事業者から頂いた贈呈品に対し自治協事務所にて感謝状を手渡した。

今回地域貢献頂いた企業は株式会社安倍日鋼工業(岐阜県岐阜市)、株式会社増岡組(東京都千代田区)、中国フレキ工業株式会社(東広島市高屋町)、日本道路株式会社(東京都港区)の4社。

### 多用途可能な 反射テープ付きベスト

贈呈品はベストでA4サイズ紙や携帯電話、スマートフォンが入るポケットがついており、交通安全や災害発生時、避難所運営時の役割を記載するなど多岐に使用可能なものとなっている。自治協では避難所運営の際の各担当者役割を記載した用紙と一緒に保管している。このベストは各自治会にも4着ずつ配布され、地域イベント、防災訓練



日本道路株式会社

などでの使用が期待される。土久岡会長は「当地区の交通安全に貢献されたその活動に深く感謝の意を表す。」と感謝状を手渡した。



中国フレキ工業株式会社



株式会社増岡組



株式会社安部日鋼工業

## 貴重な体験談で知る核兵器使用の恐ろしさ 「ピースイベント」八本松地域センターにて開催

7月31日(日)猛暑の中、八本松地域センターにて「みんなで受け継ぐ平和のねがい」2022が開催された。毎年、広島平和記念式典前日(曜日)に行われている通称「ピースイベント」。



体験談を話される御堂さん

今年も東広島市内原爆死没者慰霊式を地域センター慰霊碑前で開催。原爆死没者に献花を捧げた。又、慰霊式後の

「受け継ぐ平和のねがい」では御堂義之さん(八本松町在住)から9歳の時に爆心地から約1.5キロの広島市千田町(現中区)で被爆。家族を失くし、被爆直後から続いた非常に辛く、苦勞した人生の証言を話された。



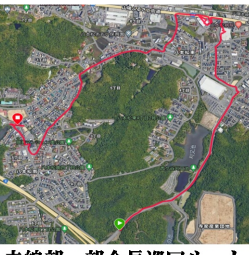
朗読する賀茂高校演劇部のみなさん

## 感染拡大の中、分散巡回

### 青少年育成部会 防犯パトロール

7月23日(土)八本松住民自治協議会 青少年育成部会 部会長 中森 幸恵 は部会員および協力員とともに小学校区内の巡回夜警パトロールを実施した。通常八本松地域センターを発着とし、巡回コースの確認、巡回後の報告を実施していたが、

感染拡大するコロナウイルスの懸念もあり、各グループごとに地域内及び商業施設等を巡回、SNSにて報告があった。中森部会長は道の駅から北上、かつえ坂公園、八本松東地区のスーパー及び書店内、最後に八本松南地区スパー、大曾場公園を巡



赤線部 部会長巡回ルート